

経営学演習Ⅲ

必修 4単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、経営戦略論領域の修士論文の作成に必要な研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

2. 授業の到達目標

- ① 経営戦略論を中心とした経営学領域の基礎・応用的な理論の習得。
- ② 博士前期課程2年次終了までに習得すべき研究方法論の習得。
- ③ 修士に相応しい学位論文を完成させること。

3. 成績評価の方法および基準

研究の進捗状況(年数回課す研究報告) 30%
演習内での討議への貢献度 20%
修士論文の内容 50%

で評価する。60点以上を合格とする。

遅刻、無断欠席は厳しく対応する。やむを得ず欠席する場合は、事前に大野に連絡すること。

4. 教科書・参考文献

教科書

受講者の研究テーマ・興味・関心に応じて決定する。

参考文献

大野貴司 人間性重視の経営戦略論—経営性と人間性の統合を可能とする戦略理論の構築にむけて— ふくろう出版

5. 準備学修の内容

自身の研究テーマにかかわる国内外の先行研究を常に収集し読み進めておくこと。修士論文を毎日少しずつで良いので進めるようにしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

修士論文の完成に向け各自で研究を進めておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、春期休暇中の研究成果の報告 ※ オンライン授業
- 【第2回】 論文第2章の検討①(分析視角の提示)
- 【第3回】 論文第2章の検討②(必要な研究や理論を抑えているか)
- 【第4回】 論文第2章の検討③(実態との適合可能性の検討)
- 【第5回】 論文第2章の検討④(①～③を踏まえ、指導教員と院生との討議により第2章を完成させる)
- 【第6回】 論文第3章の検討①(研究方法論の検討と研究進捗の確認)
- 【第7回】 論文第3章の検討②(研究進捗の確認)
- 【第8回】 論文第3章の検討③(研究方法の決定)
- 【第9回】 論文第3章の検討④(調査対象企業・組織の決定)
- 【第10回】 論文第3章の検討④(調査項目の検討)
- 【第11回】 論文第3章の検討⑤(調査項目の完成)
- 【第12回】 論文第2～3章の文字起こしの確認と指導教員による修正指示
- 【第13回】 論文第2～3章の最終確認と完成
- 【第14回】 論文第4章の検討①(事例部分の検討、1つ目の事例の検討)
- 【第15回】 前期の総括と夏期休暇中の研究計画(院生によるプレゼンテーション)
- 【第16回】 論文第4章の検討②(1つ目の事例の検討と完成) ※ オンライン授業
- 【第17回】 論文第4章の検討③(2つ目の事例の検討)
- 【第18回】 論文第4章の検討③(2つ目の事例の検討と完成)
- 【第19回】 論文第4章の検討④(事例を検討しての小括の検討と内容についての討議)
- 【第20回】 論文第4章の検討⑤(前回の訂正指示を反映させ、小括の完成)
- 【第21回】 論文第5章の検討①(事例の解釈の検討と内容についての討議)
- 【第22回】 論文第5章の検討②(前回の訂正指示を反映させ、事例の解釈の完成)
- 【第23回】 論文第5章の検討③(論文の提言部分の検討と内容についての討議)
- 【第24回】 論文第5章の検討④(前回の訂正指示を反映させ、提言部分の完成)
- 【第25回】 終章の検討①(論文の含意、限界、課題の検討と討議)
- 【第26回】 終章の検討②(前回の訂正指示を反映させ、終章の完成)
- 【第27回】 論文の全体の検討(全体的な内容の確認と指導教員による修正指示)
- 【第28回】 図表の再検討
- 【第29回】 修士論文口頭試問を想定した修士論文のプレゼンテーション①(指導教員と受講者による討議含む)
- 【第30回】 修士論文口頭試問を想定した修士論文のプレゼンテーション②(前回受けた訂正指示を反映させ、内容の精度を高める)